



令和4年5月6日
さんいく保育園有明
看護師 市川

春の風が心地よく、さわやかな気分になれる5月。多くの子どもたちは新生活に慣れ、少しずつですが園生活を楽しめるようになりました。一方でこの時期は体や心に疲れが出て体調を崩しやすくなる時期でもあります。規則正しい生活をして元気いっぱいにご過ごせるようにしましょう。

★虫刺されに注意しましょう★

「蚊」というと夏場に活動するイメージですが、実際は4月後半の気温が22度を超えてくるあたりから発生しています。また、気温が26℃を超えてくるとさらに活発に活動します。

○蚊に刺されやすい人の特徴は…

①体温が高い ②汗を多くかく ③呼気に含まれている二酸化炭素や乳酸が多い などがあげられます。乳幼児はこれらすべてに該当するので、大人よりも虫に刺されやすい状態であると言えます。

○蚊に刺されてしまったときは…

まずは水でよく洗い流しましょう。痒みや腫れがひどい場合は冷やしましょう。虫刺されの市販薬を使用するのも効果的です◎

○とびひに気を付けましょう…

虫刺されや湿疹、汗疹(あせも)を掻き壊してできた傷や、乾燥肌やアトピーなどでバリア機能が低下しているところに細菌が感染することで「とびひ」になります。とびひは水膨れを壊してしまい、その中身が直接や手を介して他の部位と接触することで広がってしまいます。

子どもは痒いのを我慢することが難しく掻き壊してしまうことが多いです。鼻をほじる癖がある子どもも多く、大人に比べるとリスクが高い状態です。虫刺されを適切に対応して予防してあげましょう。また掻き壊さないように爪を短く切ってあげることも大切です。

※例年、とびひがあるとプール活動には参加できない為ご注意ください。

※とびひと診断されたお子様は、その部分をガーゼで覆っていただきますようご協力おねがいします。

発熱したときのおうちでのケア



○水分補給

湯冷まし、麦茶、子ども用イオン水、経口補水液、果汁などが適しています。子どもが進んで飲みたがるものを与えましょう。

○食事

食欲があれば、喉越しがよく、消化によい物を与えましょう。乳児で食欲がない場合は1回の量を減らし、回数を増やして与えましょう。

○衣服

熱の上がり始めで寒がる時は保温できる服で、熱が上がりきったら薄着に替えます。汗をかいたらこまめに取り替えましょう。

○汗をかいたら

ぬるま湯に浸し固く絞ったタオルで体を拭いてあげましょう。汗をかいた体がさっぱりし、熱を放散させる効果もあります。

～発熱に関して～

発熱で保育園を欠席する日や早めのお迎えをお願いしたときは病院受診をお願いします。その際、保育園に登園しても良いのかどうかを医師に確認してください。また、登園される前に保育園へ1度お電話していただき、その旨を保育士へお伝えください。ご協力よろしくをお願いします。

～病欠に関して～

体調不良で欠席される際は直接お子様の様子をお伺いしたいため、コドモンではなく電話での連絡をお願いします。

～新型コロナウイルス感染症に関して～

まだまだ猛威を振るっております。園内でも感染症対策を行っておりますが、ご家庭でも引き続き感染症対策へのご協力をよろしくお願い致します。また、園児やご家族が濃厚接触者になった・PCR検査を受けたなどがありましたら、当園にもご連絡いただきますようよろしくお願い致します。